

# 市議会報告

2013年1月号

迎春

塚本  
佐々木  
杉浦

景気回復の実現は  
市民生活の向上でこそ

塚本  
石黒  
岸本  
佐々木  
杉浦

市民の願いや現場の声  
を大切にする市政を



年末の総選挙で政権が交代する中、迎えた2013年。増税や社会保障の改悪のもとで、安心して暮らせる市政をどのように進めるのか、議員団で話し合いました。

## 暮らし・平和を守る共同を広げる年に

復という共産党の主張は手応えがあったけど、広げきれなかつたのが残念です。

塚本

安倍政権の経済対策は、従来失敗したものばかり。原発でもTPPでも国民との矛盾は広がっていくと思う。地域経済の見通しはどう思う?

石黒 浜大津の家電量販店や大津駅前の平和堂の撤退、旅館紅葉の閉鎖など商業施設の撤退が相次いでいるので影響を心配する声も聞かれるけど。

黄野瀬

ルネサスで900人も解雇された。市は企業立地補助を見直して雇用と地域への責任を果たすよう指導すべき。住宅改修補助みたいに地域にお金が循環する予算を増やすべきね。

岸本 社会保障の充実など市民生活を支えることが地域の活性化につながるし、地産地消の拡大で、農業や商店街などの支援ももっと必要だと思うわ。

## 新年度予算編成へ政策要望提出



▲政策要望を提出し、越市長(右)と懇談する党市議団

日本共産党市議団は、昨年11月、越市長に150項目にわたる政策要望を提出し、懇談しました。その中では、介護保険制度の改善や保育園の増設、若者の雇用対策の推進、地域公共交通の充実など切実な市民要求について意見を交わすとともに、懸案となっていた国保料の減免制度の拡充について、現在検討中との話も出されました。

政策要望の全文はホームページをご覧いただけます。

塚本 今年はどのようなことを重点に取り組もうと考えていますか?

佐々木 市長がガス料金の値下げを発表しましたが、ガス事業は民営化ではなく、多額の利益を市民生活に還元できるよう検証・提案したいと思う。市内には産廃の不法投棄などが数多くあります。びわ湖の水と自然環境を守るために規制を強め、循環型

## 平和・暮らし・守る 共同を大切に奮闘

佐々木 行政改革で計画中の家庭ごみ有料化は、紙ごみなど市民の協力で減量を進め、焼却場を2カ所にすれば、市民負担を増やす必要はないよ。

黄野瀬 行政改革も予算削減ばかりじゃ職員も仕事を請け負う業者も大変。「公契約条例」をつくって賃金や経営を底上げする動きが全国で起こっています。



塚本 高齢者などの外出支援へ住民が行っているバス事業は、市が一定の財政負担をすることで、協働の力で解決できるのにこれも消極的だね。

石黒 障がい者が学校卒業後に通う施設や介護を保障する高齢者施設が足りない厳しい現実があります。人間の尊厳を守るために、市独自の施策を提案していきたいと思います。

杉浦 2カ所目の幼保一体化施設が瀬田に整備されますが、子どもの発達を第一にしっかりと検討すべき。多様化の名で子どもの安全や保育の質が低下しないようがんばります。

塚本 一人ひとりの市民が人間らしく暮らせるように応援するのが市政の役割。平和と民主主義・暮らしの問題でも市民の皆さんと力を合わせてがんばっていきたいと思います。今年もようしくお願ひします。